



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和5年

有功会報

発行所 日本赤十字社沖縄県支部 沖縄県赤十字有功会 那覇市与儀1丁目3番1号 ☎(098)835-1177



ハートラビット



会長 金城 棟啓
(株)琉球銀行

会長あいさつ

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

関係各位の皆様には、当有功会の運営について格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本赤十字社では、平時からの災害に備えた対応のほか、国際活動として、ウクライナ人道危機に対応した救援金の募集や赤十字国際委員会（ICRC）を通しての避難民への支援、本社職員の派遣などを行っております。

また、全国の医療施設ではコロナ感染症患者への対応だけでなく、感染症対策を実施しながら、看護学生の実習生を受け入れし、看護師の養成にも注力しております。

沖縄県支部においても、令和2年より継続して県庁内に設置された「沖縄県新型コロナウィルス感染症対策本部」へ支援要員として職員を派遣するだけでなく、施設や自宅から医療機関への陽性者の患者搬送を担っております。

これらの活動は広く県民から寄せられる活動資金によって賄われております。赤十字活動を側面から支援する有功会としても、更なる赤十字活動の充実を図れるよう皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年は兎年となります。うさぎのように飛び跳ね活気に満ち溢れた一年になることを強く願いますとともに、会員皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



副会長 嘉手苅 義男
(株)オリオンビール



副会長 仲村 義明
(専)育成保育カレッジ学院



副会長 張本 ユリ子
(株)萬裕商事



副会長 湧川 昌秀
(沖縄県社会福祉協議会)



理事 新垣 淑典
(株)沖縄ビル管理



理事 井上 宏
(株)国際ビル産業



理事 上原 初枝
(有)朝日印刷



理事 喜久里 忍
(株)琉球セメント



理事 吳屋 守孝
(株)金秀ホールディングス



理事 新城 一史
(株)沖縄海邦銀行



理事 武富 和彦
(株)沖縄タイムス社



理事 玉城 徹也
(株)國場組



理事 當銘 春夫
(株)りゅうせき



理事 渡具知 武之
(株)沖縄セルラー電話



理事 中嶋 健博
(株)沖縄綿久寝具



理事 花城 エリ子
(株)沖縄産業ホールディングス



理事 比嘉門 潤市
元(株)大門商事 創業者



理事 普久原 均
(株)琉球新報社



理事 前屋 誠
コザ信用金庫



理事 山城 正保
(株)沖縄銀行



理事 与儀 達樹
大同火災海上保険



監事 喜名 景秀
(株)大成ホーム



監事 金城 稔
(株)光電気工事

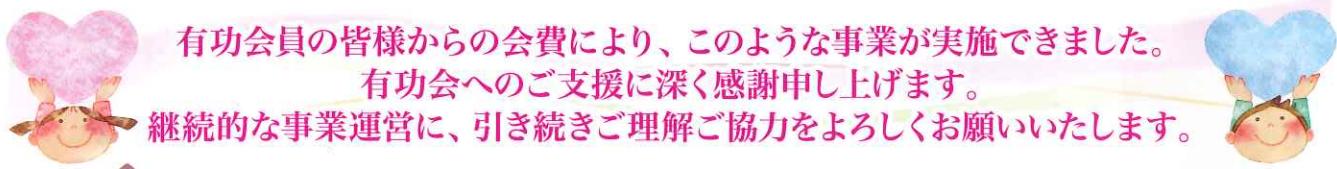


顧問 大城 勇夫
元会長(株)琉球銀行



顧問 宮里 俊一
元会長(株)琉球セメント





県内児童養護施設へ絵本42冊贈呈

令和4年3月10日、赤十字有功会から県内児童養護施設（8施設）へ絵本42冊を贈呈しました。

金城会長より各施設の代表へ絵本が贈呈され、沖縄県児童養護施設協議会の上原会長より「子どもたちにとって、コロナ禍での厳しい日常生活が続いている中、お心遣いに感謝します。」とお礼のあいさつがありました。



日赤安謝福祉複合施設

懸垂幕の贈呈、設置

献血者が不足しがちな7月、全国一斉に「愛の血液助け合い運動」月間が展開され、有功会では、今年も献血運動推進のため、広報懸垂幕を贈呈し、献血推進に協力しました。

コロナ禍や台風襲来の時期でしたが、運動月間中は沖縄県内で4,462人が献血へご協力いただきました。

日赤紹綴・有功会会長協議会総会(大阪府)

令和4年10月6日、大阪府大阪市において「令和4年度 日赤紹綴・有功会会長協議会総会」が開催されました。沖縄県から金城棟啓会長が参加しました。

新型コロナ感染症の影響で令和元年以来の招集での開催となり、総会では収支決算報告、全国各ブロック代表からの有功会活動が紹介されました。

第2部では、公益財団法人 大阪観光局理事長 溝畑宏氏より「新しい観光の新時代～コロナ禍を乗り越えて～」の演題で講演が行われました。

次年度は広島県での開催を予定しております。



九州八県赤十字大会(宮崎県)



令和4年11月22日に「令和4年度九州八県赤十字大会」が宮崎県宮崎市のシーガイアコンベンションセンターにおいて開催されました。

同大会には九州各県から約550名の参加があり、沖縄県より8名が参加し、そのうち県有功会役員及び会員3名が受章されました。

令和5年度は佐賀県での開催が予定されています。皆さまからのご参加お待ちしております。

第39回 令和4年度沖縄県青少年赤十字大会開催

令和4年10月31日に県総合福祉センター（ゆいホール）において県青少年赤十字大会が開催され、関係者107名が参加しました。

赤十字有功会を代表して金城棟啓会長より、大会参加者へ記念品（3色ボールペン）が贈呈されました。

大会では青少年赤十字活動に取り組んでいる個



人及び学校の表彰が行われ、今年度は個人13名、指導者2名、学校7校が受賞しました。

また、青少年赤十字が創設100周年を迎えた今年の大会は「RYUGIN GOOD NEWS（りゅうぎん グッドニュース）」にも取り上げられJRC活動の様子が放映されました。

NHK海外たすけあい街頭募金

令和4年12月1日から25日の間、「NHK海外たすけあい街頭募金」が県内各地で展開されました。

「誰も取り残さない。紛争からも飢餓からも。」をテーマとして掲げ、紛争に伴う難民支援や頻発する災害への対応など、世界各地で苦しんでいる人々への人道的支援を目的としています。

令和4年12月10日に県民広場において街頭募金が実施され、赤十字有功会役員及び会員、青少年赤十字メンバー、青年奉仕団や赤十字職員110名が参加し、多くの人へ募金の協力を呼びかけました。

当日は214,010円の募金が集まりました。



挨拶する金城棟啓有功会会長



「たすけあいを、忘れない。」参加者全員で記念撮影

沖縄県赤十字有功会・総会について



令和4年度の沖縄県赤十字有功会総会につきましては、令和4年7月20日に召集しての開催を予定しておりました。

新型コロナ感染症の感染拡大防止の観点から文書審議での開催となり、令和3年度事業報告及び決算、令和4年度事業計画及び予算、役員の改選について承認されましたことを報告いたします。



赤十字のプログラムをご利用ください

学校や地域団体、企業の研修などに、職員やボランティアの講師を派遣しています。
オンラインで対応できるプログラムもあります。

○OAED講習、きずの手当、こどもや高齢者の健康を守る方法など



○グループで取り組む防災プログラム



講習に関するお問い合わせ：日本赤十字社沖縄県支部 事業推進課

✉ kousyu@okinawa.jrc.or.jp ☎ 098-835-1180

赤十字活動へのご寄付(クレジットカード)

銀行等の窓口に訪問することなく、ご自宅からご寄付いただくことが可能です。
継続的なご支援によって赤十字の活動は支えられています。

1日約70円からはじめられる、苦しんでいる人を「救うこと」。



感染症防護具

感染症まん延状況下で救護活動を実施する際に必要な防護具（マスク、フェイスシールド等）約2人分を備えることができます。



安眠セット

避難所で少しでも快適に過ごしていただけるよう、キャンピングマット、枕、アイマスクなどが収納された「安眠セット」を1人分備えることができます。



緊急セット

避難先での生活にあると便利なマスク、ウェットティッシュ、ラジオ、懐中電灯、歯ブラシなどが収納された「緊急セット」を4人分備えることができます。



小児用シロップ薬

日本では簡単に完治するような風邪の症状で、多くの子供がいのちを落としている国や地域に「小児用シロップ薬」500人分を届けて尊い命を救えます。

赤十字寄付金付き自販機・募金箱設置のお願い

有効会法人企業の皆様におかれましては、社会貢献の一環として赤十字寄付金付き自販機の設置、事業所窓口等に募金箱を設置し、活動資金のご協力をお願いいたします。

こんなとき「あなたの善意を」赤十字へ

赤十字事業は、皆様からいただいた資金で行われております。随时活動資金の他、還暦、古希、トーカチ、カジマヤー、創立記念日のお祝い、不幸にしてお亡くなりになられたときの香典返しなど、あなたの善意を赤十字へお寄せ下さい。

連絡先：日本赤十字社沖縄県支部 総務課 ☎ 098-835-1177